

消防職員の 削減はやめるべき

地下鉄ホーム可動柵 の設置を早期に

予算特別委員会・局別質疑

新たな職員リストラが 目白押し

消防局の質疑では、上京消防署管轄の大宮消防出張所を廃止することについて質問。地域への説明では廃止ではなく「移動」「機能強化」だと強弁しているようです。現場よりも財政的視点のみの消防局の姿勢を質しました。

ホーム可動柵設置は急務。 点字ブロックの 更なる改善を検討との答弁

相次ぐホームへの落下事故を受けて、国は検討会を行っているようですが、ホーム柵への補助は更なる増額が必要です。国への要望を強く求めました。また、東西線における点字ブロックの改善を求めてきましたが、「できるような検討している」との答弁を引き出しました。



終了本会議で 公営企業決算の 討論を行いました

終了本会議の10月26日に公営企業決算の討論に立ちました。バスの委託化や低賃金で非正規職員になっている若年嘱託制度について問題点を明らかにしました。特に若年嘱託制度は、導入当初5年だった制度が職員のみならずの声とわが党の議会の論戦で3年となりましたが、この低賃金の制度を導入しているのは京都市と名古屋市だけです。引き続き、制度の廃止に向け論戦を続けます。

上下水道局に対しては、老朽管の取替えが急務の課題で、国に対して要望し、ライフラインである水を守るべきと訴えました。



日本共産党
京都市会議員

平井良人

ひらい
よしひと

地域の要求実現に
がんばっています。

閑静な住宅街にできる 飲食店

多くの方々が飲食店を否定しているわけではありません。しかし、夜中まで騒がしい状況が閑静な住宅街で起こっています。相談しながら、消防法や騒音の観点から各部署に訴えるなかで、出店計画がなくなりました。

道路が陥没し、 水溜りができる道を改善

住民の方から「家の前に大きな水溜りができ、雨の際、家に入るのが非常に怖い」との要望がありました。上下水道局の調査が入り、改善が約束され、「これで雨の日でも安心して家に入ることができる」と喜びの声が寄せられました。

